

別所線活性化協議会 令和5年度 事業計画(案)

1 別所線活性化協議会の開催（書面開催を含む）

(1) 第1回協議会 令和5年4月28日

- ・令和5年度事業計画・予算、令和5年度別所線・生活交通改善計画の審議ほか

(2) 第2回協議会 随時

- ・関連団体と連携して実施する事業の進捗報告、
（上田市地域公共交通計画の策定状況、上田市公共交通キャッシュレス化推進プロジェクトの進捗状況）
- ・令和5年度生活交通改善計画について、変更を要する場合の審議

(3) 別所線活性化ワーキング会議（随時）

- ・協議会構成員のうち一部メンバーと、長野大学生・上田女子短期大学生などとの連携によるワーキング会議を開催し、活性化事業の検討を行う。

2 協議会の事業（他団体との連携事業を含む）

(1) マイレールチケットの販売・PR

- ・2023年 秋 マイレールチケット（Ticket QR）のデザイン制作、チラシ印刷・配布
- ・2024年 春 マイレールチケット（Ticket QR）のデザイン制作、チラシ印刷・配布

(2) 利用促進グッズ、イベントグッズの制作

- ・例：上田わっしょい（7/29 予定）＆信州上田大花火大会（8/5 予定）のうちわ制作

(3) ふるさと納税キャンペーン（10月～12月）

- ・東急沿線駅でのふるさと寄付金（別所線応援コース）のポスター掲出

(4) 他団体との連携による利用促進策の実施（随時）

①上田市公共交通活性化協議会（夏休みキッズパス事業）

※夏休みキッズパス事業（市内小学生以下の子どもに、夏休み期間中、路線バス・別所線運賃を無料とする事業、令和5年7月21日（金）から8月24日（木）まで（予定））

②上田市日本遺産推進協議会（ラッピング電車&バス、リモート&AI コンシェルジュ）

③上田地域シェアサイクル推進協議会（シェアサイクル）

④上田市シティプロモーション、観光プロモーション事業（観光誘客、首都圏キャンペーン）

別所線活性化協議会 令和5年度 予算(案)

収入合計	1,222,800 円
支出合計	1,222,800 円
差引残額	0 円

歳入

単位:円

款	項	目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
1 負担金	1 負担金	1 負担金	1,200,000	1,200,000	0	上田市負担金
2 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	22,724	35,489	△ 12,765	前年度繰越金
3 諸収入	1 諸収入	1 雑入	76	11	65	その他収入
合 計			1,222,800	1,235,500	△ 12,700	

歳出

単位:円

款	項	目	事業	予算額	前年度予算額	増減	摘要	
1 運営費	1 会議費	1 会議費	会議費	100,000	120,000	△ 20,000	委員報酬	
	2 事務費	1 事務費	事務費	10,000	50,000	△ 40,000	事務用品等	
2 事業費	1 事業費	1 事業費		1,100,000	1,000,000	100,000	マイレールチケット デザイン制作費	653,000
							マイレールチケットチラ シ印刷費	44,000
							ふるさと寄付金ポスター	174,000
							シェアサイクル負担金	50,000
							支援イベント参加、その 他活動費	179,000
3 予備費	1 予備費	1 予備費	予備費	12,800	65,500	△ 52,700		
合 計				1,222,800	1,235,500	△ 12,700		

(令和4年5月27日、協議会新設)

別所線関連事業

1 別所線支援事業の背景・趣旨

(1) 国の安全性緊急評価事業

・平成12、13年に京福電鉄越前本線で相次いで発生した列車衝突事故を受けて、国が安全性緊急評価事業の実施を義務付け。
 ・別所線の設備投資額が11億円を超える試算となり、上田交通からの支援要請や地域住民による存続署名活動を受け、市は、緊急対策本部等において検討の結果、財政支援の方針を決定（H15・16）

(2) 安全対策事業及び運行経費への補助創設

・別所線再生支援協議会（H16）を設置、「別所線再生計画」（H17.2）を国に提出し、国・県を含めた協調補助の枠組みが整う。
 ・平成16年度以降、3か年ごとに、市と上田電鉄との間で運行協定を締結し、安全対策事業及び運行経費への財政支援を実施
 ・運行経費補助は、バス事業者との税負担の均衡を図るため、鉄軌道用地・家屋の固定資産税・都市計画税相当額と、償却資産のうち構築物の固定資産相当額を市単独で補助

2 安全対策事業

(1) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（協調補助）による安全対策事業

①対象工種

- ・線路設備更新（硬頭レール化、コンクリート枕木化、道床硬質化、橋梁等）
- ・踏切設備更新、変電所設備更新、電路設備更新
- ・車両検査（全般検査、重要部検査）

②補助率、補助額

単位：千円

補助率	国1/3	県1/6	市協調1/6	市単独1/3	事業者
線路設備等更新	144,438	72,218	72,218	144,444	7
うち橋脚補強	90,166	45,083	45,083	90,167	1

※鉄道事業の補助割合は、通常、国1/3、県1/6、市町村1/6、事業者1/3

※特定財源：特別交付税措置（地域鉄道30%）

(2) 市単独補助による安全対策事業

①対象工種

- ・線路設備修繕（道床交換、踏切補修など）
- ・車両設備修繕（車輪削正・交換）

②補助率、補助額

単位：千円

補助率	国	県	市協調	市単独10/10	事業者
線路設備等修繕	—	—	—	1,730	15,000

3 運行経費補助

単位：千円

補助率	国	県	市協調	市単独10/10	事業者
固定資産税等	—	—	—	16,857	—

4 災害支援措置補助金

(1) 事業の背景・趣旨

- ・令和元年東日本台風（19号）の影響により、10月13日、千曲川左岸堤防が欠損、別所線千曲川橋梁の一部（G5桁）が崩落
- ・令和2年1月24日の上田市議会臨時会において、国の特定大規模災害等鉄道施設災害復旧事業費補助金を活用して復旧を図ることについて、関連議案が全会一致で可決
- ・補助要件として、鉄道施設の公有化、長期的な運行の確保に関する計画の策定が必須
- ・長期的な運行の確保に関する計画（2021～2030年度）に、上田電鉄の災害時借入金の支援を「災害支援措置補助」として位置付け、2020年度から支援開始
- ・令和3年3月28日に、千曲川橋梁が全線開通

(2) 補助額

単位：千円

補助率	国	県	市協調	市単独10/10	事業者
災害時借入金	—	—	—	当初見送り	—

※日本政策金融公庫借入金300,000千円

5 別所線復興プロジェクト事業負担金

(1) 事業の背景・趣旨

- ・別所線千曲川橋梁の災害、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、低迷する輸送人員の回復を図るための、活性化事業に対する負担金（ふるさと上田応援基金を活用）
- ・市は、災害復旧の事業主体、別所線の財政支援をしている立場において、真の復興に向けたプロジェクトの一翼を担う。
- ・3年度は、テレビ番組制作及びストリートピアノ事業を実施したほか、日本遺産の文化庁補助金を活用して電車ラッピング事業なども展開
- ・4年度は、テレビ番組制作、日本遺産連携で多言語案内システム運営事業を実施

(2) 事業概要

単位：千円

事業内容	市負担金	備考
①日本遺産連携・多言語案内システム運営事業 実施場所：上田駅、別所温泉駅 実施内容：新型コロナ禍における非接触型の観光案内を推進するため、上田市日本遺産推進協議会との連携により、AI機能を活用した「多言語案内システム」を運営	2,500	継続
②シェアサイクル連携事業 実施時期：令和5年4月～令和5年12月まで 実施場所：別所温泉駅、塩田町駅、下之郷駅 実施内容：別所線沿線駅にポートを設置し、電車と電動自転車による二次交通のアクセス向上を推進	3,000	新規
③Ticket QR利用促進事業 実施時期：8月花火大会、2月氷灯ろう祭等 実施内容：Ticket QRの利用促進のためのイベント時のアプリ利用者への無料対応	500	継続

6 別所線活性化協議化負担金

- ・別所線電車存続期成同盟会と別所線再生支援協議会を整理統合し、ハード・ソフト事業を一体的に議論・推進するため、法定協議会を設置

単位：千円

補助率	国	県	市協調	市単独10/10	事業者
負担金	—	—	—	1,200	—